

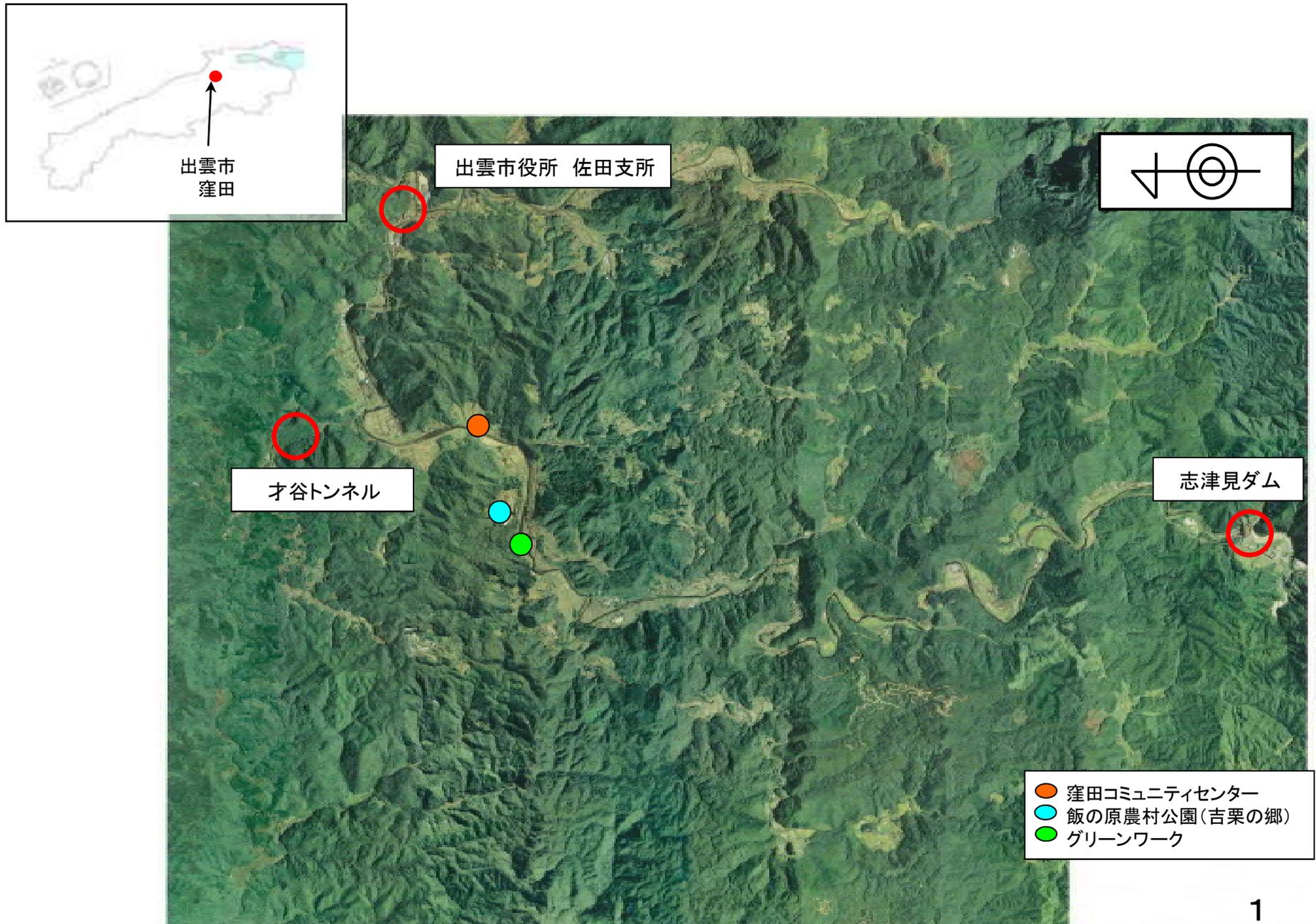
# 窪田ふるさと会

~7つの力を一つにして~



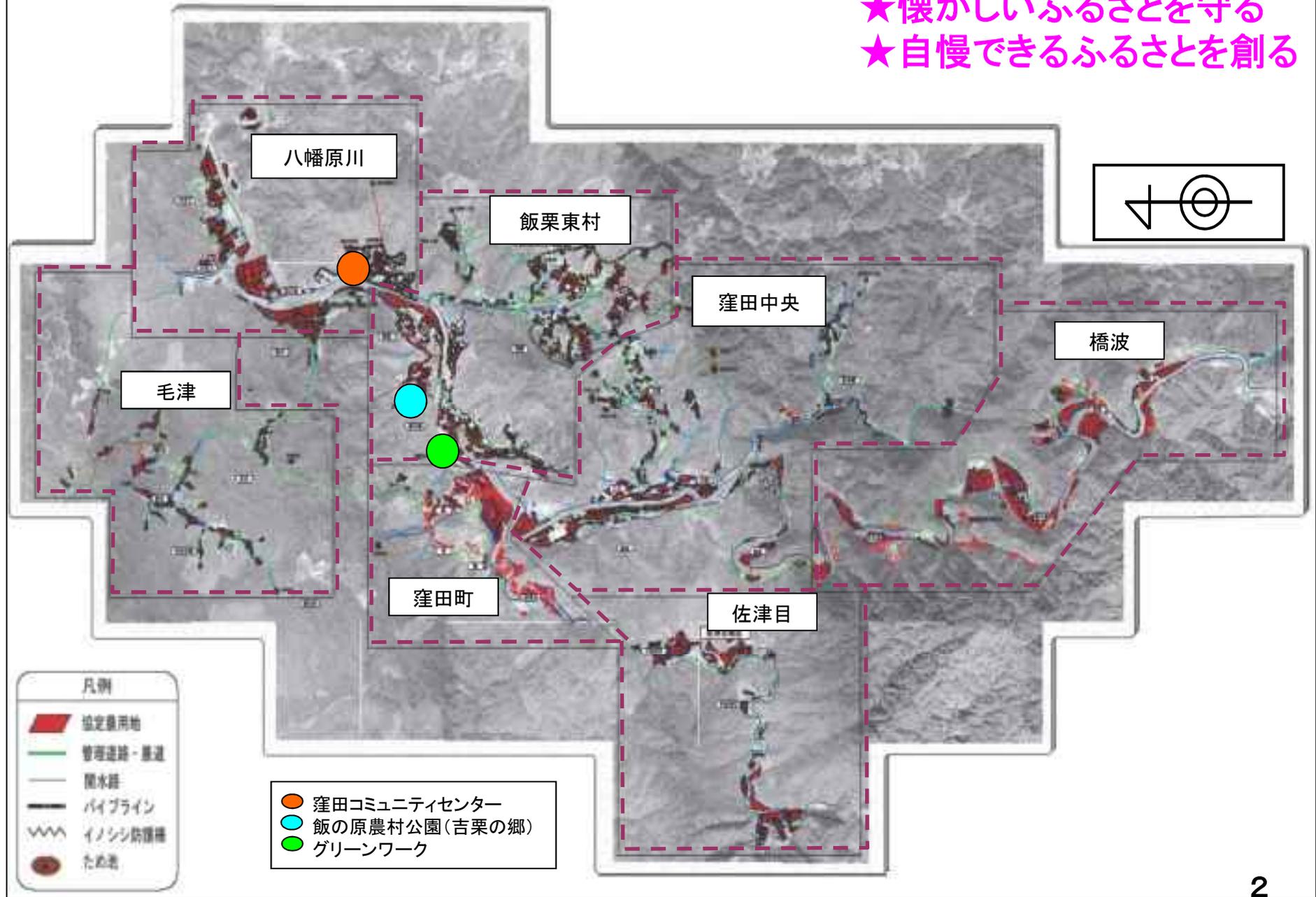
(島根県)

# 窪田ふるさと会の位置



# 窪田のテーマ

- ★窪田のみんなは助け合う
- ★懐かしいふるさとを守る
- ★自慢できるふるさとを創る



## 中山間地域における活動

窪田ふるさと会は、旧村（小学校）単位で本対策に取り組み、中山間地域での活動を実施しています。地域の活性化を図るために、本対策に関連した活動の他にも、羊の毛を利用した羊毛加工や福祉事業も手掛けている農業法人「グリーンワーク」の活動など、多面的に「地域力」の向上を図っています。また、島根県中山間地域研究センターや島根大学農学部の方を招いた意見交換会も、専門家の研究材料となり、将来、中山間地域の抱える課題の解決策につながれば良いと思います。

### 【グリーンワークによる羊の放牧から 広がった地域振興】



【羊も活動の担い手】



【羊とふれ合う  
次世代の後継者たち】

### 【中山間地の特徴ある補修活動】



【ため池管理道崩落部改修】



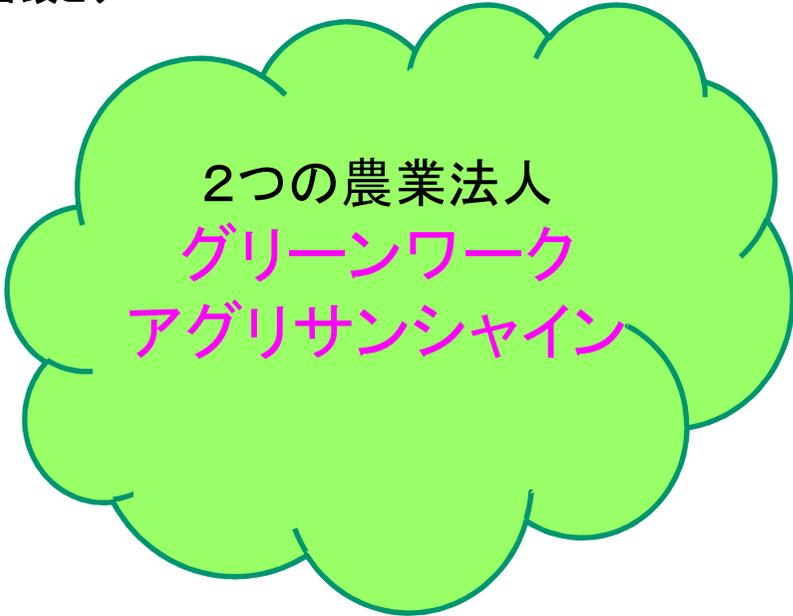
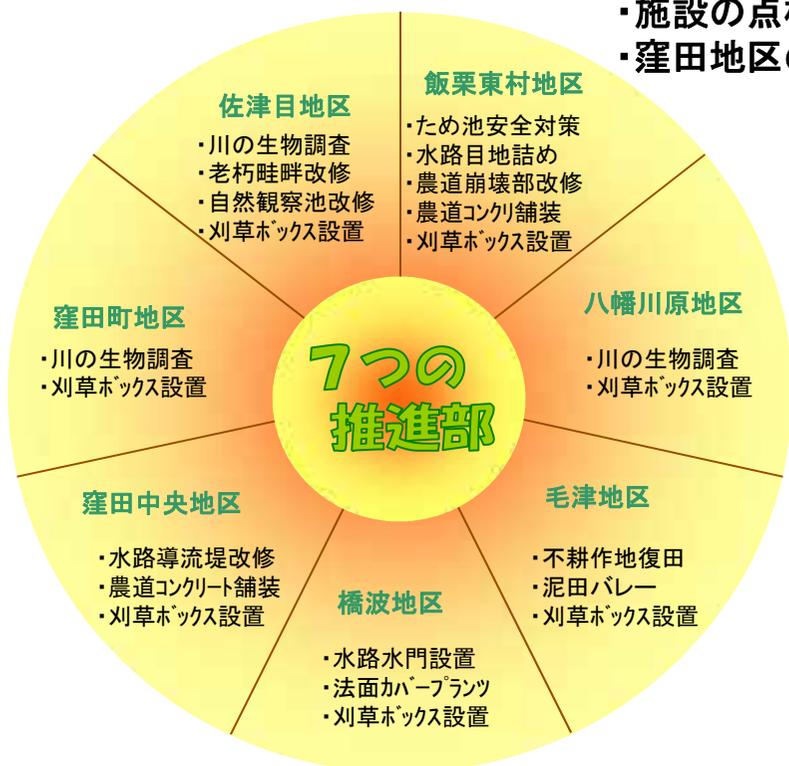
【山際の開水路からパイプの布設】

# ★窪田のみんなは助け合う

地域振興を図るためには、農業者と非農業者、更には7つの地区と農業法人が協力することが必要と考え、窪田コミュニティセンターを中心に**横の連携**を図っています。

## 事務局：窪田コミュニティセンター

- ・窪田コミュニティセンターのセンター長が本会の代表
- ・施設の点検・機能診断の結果や活動の要望、活動の報告、活動の整理
- ・窪田地区のまちづくりの音頭とり



推進部：窪田地区には、以前より7つの地区に振興協議会があり、本対策を契機に各振興会より本対策の担当者を選出し、窪田地区の活動計画策定から各地区の活動報告までを担当。

- ・水路施設の補修によって解消された遊休農用地を請負、営農活動を再開
- ・農業以外の福祉などの分野から地域の活性化を図る

# ★懐かしいふるさとを守る

“農地の荒廃は地域の荒廃につながる”との考えから、営農が維持できるように様々な補修、改修を**自主施工**を中心に実施しています。

## 施設の点検・機能診断の評価表

平成23年度 農地・水事業調査概要表

資料 (単位: 千円)

1. 農業施設部分の改善

地区名	区分	No.	施設名	現状概要	走定期 千円	調査項目							
						老朽度	受益度	利便性	危険性	通行性	影響度	協力度	計
概況	排水路	1	伊賀松水路	パイプライン敷設・125延長120m	112	4	1	2	4	4	2	5	24
		2	宮の御岩溝水路	稲野地区分水路・下溝に埋設改修W350 延長47m	170	2	2	3	1	1	2	0	10
		3	浜村水路	パイプライン敷設・100 延長300m	施行不可								
	農道	4	石の山号線(大野前)	コンクリート舗装 1路幅12.5m W2.5m H0.1m	築造済	2	2	3	1	2	2	4	16
		5	石の山号線(坪下)	コンクリート舗装 1.2m W2.5m H0.1m	築造済	2	2	3	1	2	2	4	16
		6	石の山号線(坪下)	コンクリート舗装 1.2m W2.5m H0.1m	築造済	2	2	3	1	2	2	4	16
排水路	1	豊の原水路(発電所上)	二面コンクリート排水改善 総延長120m W450	263	3	3	3	3	3	3	6	24	
	2	野の園水路取水部(志川茂上)	排水路埋設石積み改修	施行不可									
	3	朝日水路	パイプライン敷設・φ125 L280m	367	4	1	3	5	5	2	4	24	
	4	高瀬屋下井干水路	パイプライン敷設・φ125 L110m	要検討	2	1	1	2	2	2	4	10	

7つの地区から施設の補修等の要望が事務局へ提出され、その後、事務局が要望箇所の現地状況などを確認し、要望箇所ごとに点数などで優先順位をつけ整理しています。

これを基に本会の会議で点数や現地の事情を踏まえて、年度計画を策定しています。

## 自主施工で施設の補修・改修

### ○炭窯の設置

営農に不可欠な日照を確保するために陰切りを実施しています。その際の枝木を木炭にして有効に活用しています。また、できた炭を水質改善のために利用しています。



【円形に穴を掘り、中央に枝木を束ねる】



【束ねた枝木を覆い隠すように土を盛り、鎌倉型に整形】



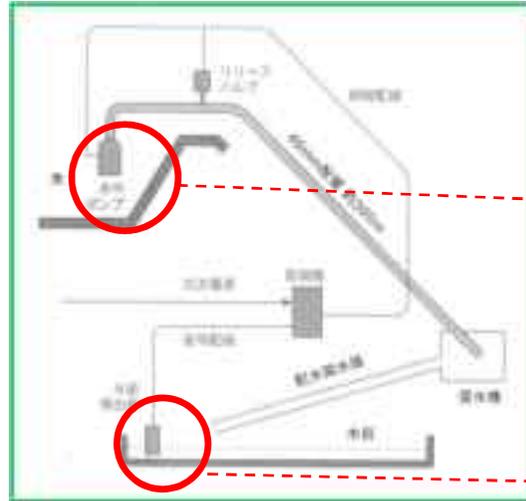
【窯に火を入れ木炭にする】



【出来た木炭を排水部に沈め、水質浄化を図る】

## ○自動給水設置

圃場の管理者が平地へ移転したため、水管理が困難となりました。そこで、ため池から水を水田に自動で取水できる装置を試験的に設置しました。現在は、良好に作動し、他の圃場で必要であれば、対応していきます。



## ○配水ゲートの改修

木製のゲート板で配水や止水操作が困難だった箇所に容易に操作ができるように、チェンブロックによる可動式にしました。また、転落防止のために踏み板も設置し、安全管理も徹底しています。



広域で取り組んでいるため、人材も豊富で、アイデアや技術力によって自主施工が可能となっています。

## ○小型水力発電機の設置

新たな活動として、小型水力発電を考えました。年間通水している用水路に水車を設置し、そこで受ける力量を発電に変換する仕組みです。現在は、街灯の点灯に活用していますが、小学校の課外授業の教材にも活用をしたいと考えています。



# ★自慢できるふるさとを創る

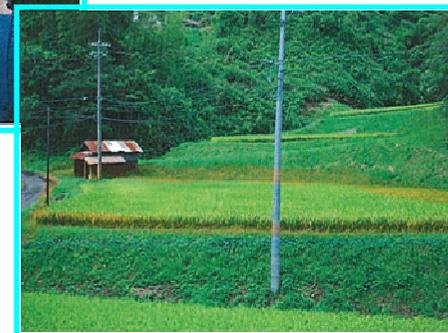
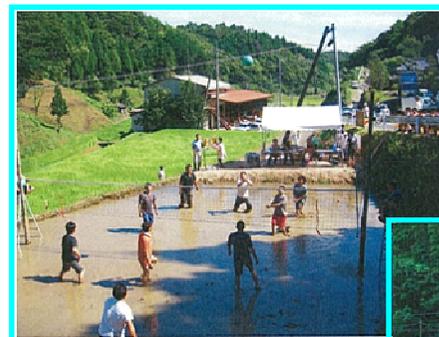
7つの地区が一つとなって「オールくぼた」で地域の活性化を図る意識が向上してきました。また、イベントの際には新聞社などマスコミに取り上げられ、継続した行事にもなり、地域外との交流も活発になっています。

## ○くぼたふれあい運動会



窪田ふるさと会も主催となり、地区民運動会を開催。パネルで活動を紹介しています。

## ○泥田バレー



遊休農地を解消し、泥田バレーを開催しています。この日は、参加者の元気が集落を包み、地元の方も大変喜んでいました。また、翌年度からは、泥田バレーの会場になった水田で作付けを再開しています。

## ○新たな交流の場



新たに完成した窪田地区の住民が管理する「飯の原農村公園」は盆踊り大会会場など、今後の地域住民の交流の場となります。

# 7つの力を一つにして

## 今後の課題

- イノシシ被害対策
- 農用地保全
- 中山間地域での地域振興

## 将来展望

3つのテーマに沿った活動を実施することで、中山間地域の活性化・振興につながっていくと信じます。また、今の子供たちの将来の定住先の選択肢に“ふるさと くぼた”がある事を期待しています。





【遊休農用地を活用した菜の花の開花を楽しむ子供たち】